

令和7年度 学校経営方針

豊後高田市立田染中学校

学校教育目標 郷土を愛し、友と共に深く学び、夢に挑戦する生徒の育成

〈めざす子ども像〉

= 校 訓 =

- 〈 探究 〉 自ら課題をみつけ、解決に向け目的をもって努力する生徒
- 〈 協力 〉 自分の意見を持ち、課題解決に向け他者と協働する生徒
- 〈 健康 〉 自己管理ができ、進んで健康・体力づくりに取り組む生徒

〈めざす学校像〉

- 高い教育水準を保ち、若者世代や子育て世代に魅力ある学校
- 地域と協働し、地域に貢献できる人材を育成する学校
- 教育環境が整い、誰もが安心安全に生活できる学校

〈めざす教師像〉

- 情熱と使命感をもった教師
- 学校組織の一員として考え行動する教師

一人残らず

元気でたのしい学校の創造

〈 育成をめざす資質・能力 〉 協働する力・挑戦する力（積極的発言＋積極的行動＝挑戦）

【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】

重点目標 個別最適な学びと協働的な学びによる基礎力の習得、思考力の育成

取組指標

- 授業中に、考えOUTPUTする時間を確保する。（OUTPUT重視の授業づくり）
- 個別最適な学びを行う。（努力を要する生徒への手立て・個別課題の提示・ICT活用）
- 協働的な学びを行う。（毎時間1回以上、根拠に基づいて発表する場&意見交流の場の設定）
- 単元に1回以上、探求型授業を行う。

【学びに向かう力・人間性等】

重点目標 自分で考え判断し挑戦する力の涵養

取組指標

- 生徒・保護者と目標を共有し、挑戦する場を設定する。
- 結果よりも生徒の挑戦した過程（勇気・行動）を評価する。
- 生徒自ら計画し、自ら振り返り、自分の成長を確認できる活動を行う。

【学びに向かう力・人間性等】

重点目標 多様な他者と協働する力の涵養

取組指標

- 自他を理解し、協働しながら課題を克服する協働活動を行う。
- 道徳科などで月に1回人権学習を行う。

学校・家庭・地域の協働 田染小中いきいきコミュニティ

『子どもが元気 学校が元気 地域が元気』

選ばれる学校、選ばれる地域をめざして

- 高い学力の維持・向上
 - ・小学校と連携した学習規律の確立
 - ・小中乗り入れ授業
 - ・小中合同行事
- 充実した補充学習
 - ・学びの21世紀塾の活用
- 伝統文化継承の取組
 - ・地域行事への参加
 - ・地域の清掃活動
 - ・田染音頭や田染民謡の伝承
- 子育て世帯の移住推進
 - ・学校紹介、サミット
- 定期的な情報発信
 - ・学校公開（月1回）
 - ・学校通信の発行（月1回）
 - ・ホームページの更新
- 各種会議
 - ・学校運営協議会（年4回）
 - ・学力向上会議（年2回）
 - ・小中連携会議（年3回）
- 安心安全な学校
 - ・スクールガードの取組
 - ・早朝街頭指導
- PTA活動の推進

働き方改革の推進

- 環境整備
 - ・年間を通して校舎内外を整備
 - ・職員室の連絡黒板の設置による会議の削減及び会議資料のデータ化
- 職場の雰囲気づくり
 - ・信頼関係の構築
 - ・職員との双方向の関係を重視
 - ・職員の相談に即対応
 - ・職員の勤務実態の把握及び助言
 - ・新聞記事等を活用した服務規律研修の実施
- 教職員の負担軽減
 - ・ICTやデジタル教材の有効活用による校務の効率化
 - ・地域人材の積極的な活用